てくてく東海道
宿場探訪マップ

STEP 3 茅ケ崎 平塚宿 大磯宿

東海道 知って得版

照ヶ崎海岸
明治18年(1885年)に陸軍軍医総監を歴任した柏木貞の尽力により、東日本最初の海水浴場として開設されました。現在は柏木貞を顕彰した碑が建立されています。また、近くの岩場は「アオリ」の飛来地として有名です。

大磯のイベント情報

●左義長(大磯北浜海岸/1月中旬頃)
正月の書き初めなどを焼き上げる伝統行事で「無病息災を祈る道祖神の祭です。
●白井神社の祭礼(白井神社/3月上旬)
街に繰って行う"やぶさめ"とは違い、歩いて的を弓で射ます。
●国府祭(六所神社、神明山/5月5日)
千年以上の伝統を誇る、五穀豊穣、民業繁盛を祈願する祭り。美しい装の舞や信照音などが行われます。
●新松原(高来神社/7月第3日曜日)
山車の上に美しい飾形を組み立てた"飾り舟"の上で踊師が木遣唄を歌います。
●虎御石まつり(延台寺/5月第4日曜日)　替見民家ゆかりの祭り。
●馬駄の山神祭と越木市(高来神社/4月中旬)
●大磯宿場まつり(11月上旬)
●大磯西行祭(観音庵/3月最終日曜日)
西行法師を慕び、西行像に献香・献花、祭り短歌の朗詠披露が行われます。
●島崎藤村忌(地蔵寺/9月22日)
破戒、夜明け前等の名作を残した文豪島崎藤村を慕び四回、献香・献花が行われます。
※開催日時等は都合により変わる場合もありますので、主催者または町へご確認ください。

5 地蔵寺
弘法大師坐像や地蔵寺文書があります。現内には島崎藤村の墓があり、その隣には静子夫人の墓があります。

6 新島襄旧宅の地
明治の三大教育家と知られる同志社の初島襄は、大磯の旅館百足屋で47歳の生涯を閉じました。徳川幕府の策による移封、かつて百足屋の玄関だったところに門下生によって建て示されています。

4 延台寺
元は法虎禅と称した虎御前の菩薩。日蓮上人が旅の途中に一夜の宿をとられ、この地の荒廃を嘆き、開山しました。寺には、曽我十郎の「身代わりの石」とされる「虎御石」があります。

3 小島本陣跡
大磯宿の代表的本陣で、明治元年(1868年)の幕末に焼かれ、明治天皇の御宿泊所となりました。

化粧坂付近の旧王町の旧道、大磯中学校前など、道中のところどころで松並木が見られる大磯宿。大磯の松並木は、県内でも有数の規模を誇っています。大磯宿には、本陣が三ヶ所、尾上本陣、小島本陣、石井本陣があり、脇本陣はありませんでした。

大磯宿

今も変わらない美しい松並木が、旅人をやさしく迎えた宿。

歴史街道「ぶらり大磯」(Slow Life In Oiso)
歴史街道「ぶらり大磯」(Slow Life In Oiso)は、日本風景街道※に登録されたルートの一つで、地産地消を関鍵し、「ゆっくり・ゆったり」したこれからの生活様式を提唱するため[Slow Life In Oiso]を掲げ、旧東海道を会場に、「自然資産を活かしたまちづくり」の一環として「商場まつり」の開催や、東海道松並木に水仙を植栽するなど「花」を生かした整備を行うなど、機種的な地域づくり活動を町全体として取り組んでいます。
※日本風景街道については、Step2をご参照ください。

7 鴨立庵
西行法師が詠んだ「心なき身にもあわれは知られけり、鴨立つ沢の秋の夕暮れ」という名歌にここからの風景を詠んだものといわれています。後に宗祇が西行を慕い、幽庵「鴨立庵」を建てました。

8 旧鈴木屋
「宿成」などの名作を残した文豪鈴木屋村が左義長を見て、大磯を気に入り、71歳で永住するまでの2年半をこの邸所で過ごしました。

東海道 親代 遊楽帖

旧東海道松並木
県内有数の今に残る旧東海道松並木で樹齢300年を超える老松が、昔日の姿を残しています。当時の旅人の道しるべや夏の日よけ、冬の寒風よけや休息の場にもなったことでしょう。

ボランティア・サポート・プログラム
ボランティア・サポート・プログラムは、国が管理している道路を対象として、道路の美化や清掃を地域住民、企業などの実施団体、協力者(市町村)、道路管理者の3者で協定を結び不十分の役割を分担して道路を守っていく取り組みです。また、国道を含めた地域の清掃活動を行っている地元中学校などの団体もあります。大磯町では東海道松並木の美しい景観保持のため、水仙などの花を植えたり、道路の清掃活動を行っています。

左義長
大磯海岸で毎年1月中旬に道祖神の大さな「サイトバ」が製所で立ち並び、盛大な火祭りが行われ、陸子など燃いて無病息災を祈ります。歴史的重要無形民俗文化財として伝承されています。

東海道 親代 遊楽帖

平塚宿

平塚宿

最盛期には、二千人もの人口と五十四軒の旅籠屋を抱えた宿。

平塚は古くより、東海道から奥州道八王子道などへの分岐点で、相模各地からの物産や人の交流が盛んで、交通の要所として栄えました。
平塚宿は江戸方より十八軒町、二十四軒町、東仲町、西仲町、柳町の五町から構成されます。このうち、二十四軒町は加宿平塚新宿のうち二十四軒が移住してこの名がおこったとされます。
現在も本陣跡などの碑や石碑を目にすることができます。
平塚宿を通る際にはぜひ立ち寄ってみてください。

1 平塚八幡宮
かつては相模国八幡庄の総鎮守で、今は平塚新宿(馬入八幡地区)の鎮守です。鎌倉は云和天皇、神功皇后、武内宿禰の三柱。

2 お菊塚
紀谷町公園の一角にあります。怪談「番町皿屋敷」に登場する菊女の墓跡に、昭和27年、有志によって建調されました。

3 江戸口見附の跡
慶長6年(1601年)、伝馬制度がおこなった時、西仲町北側に置かれた平塚宿の見附です。参勤交代が定められ、次第に人と物資の往来が多くなる。慶安4年(1651年)に東海道見附が設立され、交互に伝馬業務を勤めるようになりました。

4 平塚の里歌碑
慶長6年(1601年)、栗田の入口の街道を挟んだ両側に見附が構築され、東側の入口のものを江戸口見附といいました。

5 脇本陣跡
天保年間に、西仲町にあった脇本陣が二十四軒町北側の地に移りました。宿内唯一の脇本陣です。

6 高札場跡
二十四軒町にあった平塚宿公用の掲示板が置かれた場所です。日本橋からの距離を表示ポイントとされています。

7 東組問屋場跡
慶安4年(1651年)に八幡新宿が加宿されたときに、八幡新宿の二十四軒町に開設された問屋場で、八幡新宿(後の平塚新宿)が継承されたものです。

8 本陣江川家
天保14年(1843年)当時の本陣は樹ケヤキ造りで建坪は163坪、総敷数が20もあり、門構えは大きく、大名が泊まりできるような高くできていました。

9 西組問屋場跡
慶長6年(1601年)、伝馬制度がおこなった時、西仲町北側に置かれた平塚宿の問屋場です。参勤交代が定められ、次第に人と物資の往来が多くなる。慶安4年(1651年)に東組問屋場が設立され、交互に伝馬業務を勤めるようになりました。

10 平塚の塚
相武天皇の孫、高見王の子、平政子が東国へ下られて、後に、この地でくらしたため、塚がつくられ、それがいつしか平らになったために「平塚」と呼ばれるようになったといわれています。

11 お初の墓
この墓は、「加賀見山旧錦絵」の義女「お初」のモデルとしたといわれる「お初たつの墓」が、たわらに昭和10年に建立された鎮魂碑があります。

12 春日神社
平塚本宿の鎮守。祭神は天児屋根命で、建久2年(1191年)に源頼朝が勧請し、もとは「黒部宮」といい、海岸近くにあり、津波の被害を受け、柳町の地に移ったといわれています。

13 教善寺
本尊の聖観世音立像は祈願すると、眼病平癒に効果あるといわれています。

14 業師院
弘法大師がこの地で、眼が湧き、村人から湧んでもらったため、眼の病に、地蔵を安いたところ、清水が湧き出たといわれています。そのため、眼に関ったことから眼薬師「清水の寺」とも呼ばれています。

15 平塚の塚
相武天皇の孫、高見王の子、平政子が東国へ下られて、後に、この地でくらしたため、塚がつくられ、それがいつしか平らになったために「平塚」と呼ばれるようになったといわれています。

16 本陣跡
本陣は、幕末に、西仲町北側の地に移りました。

17 教善寺
本尊の聖観世音立像は祈願すると、眼病平癒に効果あるといわれています。

18 平塚の里歌碑
慶長6年(1601年)、栗田の入口の街道を挟んだ両側に見附が構築され、東側の入口のものを江戸口見附といいました。

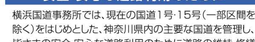
19 江戸口見附の跡
慶長6年(1601年)、伝馬制度がおこなった時、西仲町北側に置かれた平塚宿の問屋場です。参勤交代が定められ、次第に人と物資の往来が多くなる。慶安4年(1651年)に東組問屋場が設立され、交互に伝馬業務を勤めるようになりました。

20 平塚の里歌碑
市民センター中庭に、文明12年(1480年)「平宝紀行」の作者が上京の途で、平塚の地を詠った平塚の里歌碑があります。昭和32年に東京都から江戸城の石垣と共に移転され、平塚の里歌碑はこの石垣でできています。

平塚のイベント情報
●湘南ひらつかセタ夏まつり(平塚市/7月上旬)
湘南地域に位置する平塚市で開催される日本有数のセタ夏まつり。大型で豪華なセタ飾りが中心の祭を催物が開催します。
●湘南ひらつかビバ大会(湘南潮来/7月下旬または8月)
夏の夜の風物詩。爽快感いっぱい。
●平塚市総仕舞つ(総合公園/4月下旬)
●湘南ひらつかこどもスポ祭り大会(4月上旬)
●湘南ひらつかビーチカーニバル
(湘南ひらつかビーチパーク/7月上旬～8月下旬)
※開催日時等は都合により変わる場合もありますので、主催者または市へご確認ください。

東海道 親代 遊楽帖

平塚市博物館
相模川流域の自然と文化をテーマにしたさまざまな展示物で構成されています。3階には「プラネタリウム」もあります。



安全・安心な道路利用のために
横浜国道事務所では、現在の国道1号・15号(一部区間を除く)をはじめとした、神奈川県内の主要な国道を管理し、皆さまの安全・安心な道路利用のために道路の維持・修繕などを行っています。

～路面・側溝などの清掃～
道路を利用する方の安全な通行を確保するため、支障となる道路上の土砂・廃棄物等を除去するために清掃作業を行っています。

路面清掃車による清掃

道路緊急ダイヤル
緊急通報 #9910へ 24時間 (無料)

道路の異状を見つけたらご一報ください
安全な場所へ停車して　道路の安全確保　ハザードランプ　1.車 線 高 速 2.その他の高速道路 3.それ以外の道路　東京高速・首都高速道路事務所 高速道路会社 国土交通省関東地方整備局 道路管理者(国道事務所・高速道路会社)へ通報
道路の異状を発見　緊急連絡　道路の異状を通報する　道路の異状を通報する

緊急通報以外の道路相談は道の相談室へ
「道の相談室」 ホームページアドレス http://www.ktr.mlit.go.jp/kanto/road/soshi/
●相談内容の提案について関係する機関から直接回答させるものとなっております。

発行:国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所
〒221-0855　横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2　TEL045-311-2981
H24.3 PD25.11 PD26

東海道四百年の歩みを踏みしめる

慶長5年（1600年）、徳川家康が東海道に駅伝馬制度を定め、街道の整備を始めてから四百年あまりもの歳月が経ちました。慶長5年（1600年）には、江戸日本橋から五街道の起点となり、その後、五街道を中心に里程や並木などの設示が次々と整備され、東海道は日本を支える大動脈として、人、物、文化の交流に大きな役割を果たしてきました。さまざまな歴史を踏んだ東海道。この道を歩き、踏みしめ、過ぎ来たってきた役割、これからの姿を見つめましょう。

今も昔も潮風香る茅ヶ崎の茶屋の駅わい。

藤沢・平塚間の間で賑わったこの地は、三ヶ所の立場がありました。四谷（四軒）、菱沼（牡丹餅）、南湖の各立場です。中でも南湖の立場は茶屋町と称されるように大きな立場で、十七世紀後半には成立していたと考えられます。

東海道 親代 遊楽帖

旧相模川橋脚

大正12年(1923年)に起きた関東大震災によって、水田の地中より木杭が出現したもので、歴史学者　沼田頑輔によって鎌倉時代に相模川に架けられた橋であると考証されました。平成の保存整備では、10本の橋脚のほかに新たに土留め護岸があることがわかったほか、地震による液状化現象も観察されています。

また、この橋は源頼朝が渡り初めをした後に落馬したという話も伝わっています。

茅ヶ崎のイベント情報

- ◆大岡越前祭(浄見寺及び茅ヶ崎駅周辺／4月中旬)
  名奉行大岡越前守忠相の精進祭で知られる浄見寺での顔前祭や越前行列など、様々な催しが繰り広げられています。大正天年(1912年)にはじまった芳照忠相を顕彰する祭で、能楽大鼓演などで中断した後、昭和31年に復活し、春のビッグイベントとして開催されています。
- ◆湘南祭(サザンビーチちがさき／4月下旬)
- ◆浜降祭(西浜海岸／7月海の日)
  茅ヶ崎市、寒川町の神社の神輿三十数基が西浜海岸に集まり、みそぎを行います。神輿を担ぐ印部手が荒々しく海に入る様子は圧巻です。
- ◆サザンビーチちがさき花火大会(サザンビーチちがさき／8月上旬)
- ◆なんでも夜市(中央公園／8月上旬)
- ◆茅ヶ崎市民ふれあい祭り(中央公園／11月3日)
- ◆ちがさきレインボーフェスティバル(県立茅ヶ崎里山公園／11月上旬)

※開催日時等は都合により変わる場合もありますので、主催者または市へご確認ください。

東海道 親代 知る 買う 飲む

南湖の左富士

歌川広重の傑作「東海道五十三次名所図会 七、藤沢」で、「南湖の松原左不二」として描かれているように、京へ向かう場合の東海道で観る富の右側に見える茶の富士山が、県対戸橋のあたりでは、富の左側に見えるという興ぬけ展開します。江戸後期の道中記などにしばしば南湖の左富士が登場します。

ウォーキングの疲れを明日に残さないために

ウォーキングを続けていくと、やはり疲れが溜まってしまいます。明日も元気に、気持ちよく歩けるように、体のケアを忘れずに。

マッサージで足のケア

足のマッサージは心臓から遠い順に足の裏→甲→アキレス腱 ふくらはぎ→ふともも と行っていきましょう。この順で行うことで、血行やリンパの流れが促進されます。指圧の加減は、「痛いけど気持ちよい」程度のカで手前に向かって押してください。

朝起きて一番にストレッチ

疲れにくいからをつくるために、1日おきを目安に軽のストレッチを習慣化することによって、体の柔軟性が向上します。また、疲労回復や病みの観点・予防にもつながります。

現在の道を守っています

かつての東海道は、現在国道1号や15号として、人の移動や物流を支えています。横浜国道事務所ではこれら神奈川県内の主要な国道（神奈川県内の国道延長の約4割にあたる約258km）を管理しています。道路を安全で快適に使っていただくために、日々の点検やパトロールをはじめ、道路構造物の補修や修繕、清掃作業などを行っています。

宿場マップについて

東海道には53の宿場が（神奈川県内では9宿）ありました。これらの宿場は旅の際として賑わい、現在もその周辺には当時の名残をとどめる史跡や名所が数多く残っています。そこで、このマップでは道中の見どころや自然、行事などを広く網羅して、歩きながら東海道の「むかしとどいま」が楽しめるように神奈川県内の9宿を5回に分けて編集しています。

なお、表示しています道のルートは概ね江戸東海道に沿ったウォーキングルートであり、実際の江戸東海道とは異なる場合があります。

東海道 親代 遊楽帖

新湘南バイパス

藤沢バイパスと西湘バイパスを一つにつなぎ、湘南地域の渋滞緩和を図るほか、さがみ縦貫道路、横浜湘南道路と連結し、広域幹線道路網を形成する道路です。藤沢ICから大磯IC（仮称）までの15.1kmのうち、藤沢ICから茅ヶ崎海岸ICまでの9.6kmが開通しています。

東海道 親代 遊楽帖

川やの遊歩道

「水と緑と人」との調和を図った引地川沿いの遊歩道。公園もあわせて作られ桜並木も点在し、憩いの場となっています。

地図の凡例

旧東海道　宿内　一般国道　主要地方道　県道　有料道路　3 名所・史跡　トイレ　公園　P 駐車場　● その他のポイント　東海道現代遊楽帖　i 観光案内所